

平成 30 年 9 月 10 日

我が国初となる 「パソコン型タブレット」データ消去ソフトウェア評価制度を開始

一般社団法人 IoT 対応 3RTM協会 (IoT3R.ATM)

我が国では、従来から使用されているパソコンとともに、今日では「タブレット端末」(以下「タブレット」で表記)が急速に普及しています。「タブレット」は、コンピュータ機器であるパソコンとモバイル機器の両用途分野での利用が可能な可搬性と使い勝手に優れているという特徴がありますが、「タブレット」には、スマートフォンより画面を大きくし、見易さの向上と画面タッチ操作を行いやすくすることを目指した「スマートフォン型タブレット」と、ノート型パソコンよりも軽さ・薄さを追求して、普段のパソコンで使用しているアプリケーションが利用できるようにした「パソコン型タブレット」の2種があります。

「スマートフォン型タブレット」では、基本ソフトウェア(OS)にスマートフォンで多く普及しているiOSやAndroidが搭載され、取扱いデータは機器内部のフラッシュメモリに保存されています。一方、「パソコン型タブレット」では、OSにパソコンで多く普及しているWindowsが搭載されており、機器内部に一般にはSSD(Solid State Drive:ソリッドステートドライブ)が実装され、取扱いデータはSSDに保存されています。

「パソコン型タブレット」は、①外出先でのWebサイト閲覧、②外出先での動画再生等のメリットがある他、③企業・学校や個人が作成したWindowsアプリケーションソフトウェアを外出先で使用できるという大きなメリットがあることから、企業・学校や個人での利用が大きく増加しています。一方では、使用済機器の増加により、そのリユース用途も拡大しており、特に最近では「パソコン型タブレット」に対するデータ消去に対する市場からのニーズが強まっています。

そこで、当協会は、最近販売が始まっている「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」の評価制度を大手パソコンメーカーグループ会社のご協力を得て、本日より開始致します。本制度は、我が国初の取組みであります。なお、当協会が認定した「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」に対しては、当協会Webサイトでの告知とともに、認定対象商品に印刷する等ができる識別用の認定ロゴマークデータの提供を行います。

Windowsでは、使用しなくなったデータの集まりである不要なファイルを、マウスの操作で、機器のHDD（ハードディスク）やSSDの中にある「ごみ箱」に入れ、マウスで「ごみ箱を空にする」の操作をしても、その不要ファイルにあるデータは、HDDやSSD内に残っています。

また、「再フォーマット」処理というWindowsの機能を利用して、HDDやSSDにあるファイル実装可能エリア全体を初期化する方法もありますが、この状態でも、HDDやSSDにデータは残っていますので、「データ復旧ソフトウェア」というソフトウェアを第三者が使えば、パソコンにあるHDD・SSDや「パソコン型タブレット」にあるSSDにある不要なファイル内の個人情報等のデータを他人が復旧させることが可能です。これを防止するには、該当する機器に対応している「データ消去ソフトウェア」の使用が必要です。

なお、「パソコン型タブレット」では、Windowsアプリケーションソフトウェア活用のため、パソコンと同じ設計方式を採用しているものが多数あり、それらのCPUにはインテル系CPU（インテル社またはAMD社製CPU）、内蔵ファイルにはSSDが多く用いられています。

1. 「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」の評価制度の業務分担

- ・評価調査の項目及びその内容については当協会が定め、評価作業については評価の人材や機材等を有する我が国にある大手パソコンメーカーグループ会社に依頼します。当協会は、評価の結果報告を受けて、判断し認定を行います。

2. 「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」評価の考え方

- ・今回評価を行う「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」では、タブレットにはインテル系CPUを搭載し、Secure Erase機能に対応しているSSDを内蔵していることを前提としています。
- ・「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」では、タブレットに内蔵しているSSDがSecure Erase機能を有することとその実効性を確認し、機能を動作させることがわかれば、SSDデータ消去を実現していると言えますので、当協会は、「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」の評価調査として、以下の項目の評価を行います。
- ・評価調査の項目は、①データの消去（タブレット内蔵のSSD（Secure Erase機能対応）のデータ消去作業後、間違いなくデータが消去されている。）、②SSDの動作異常（不具合）検出（タブレット内蔵のSSDに何らかの異常があったときにそれを検出できる。例えばSecure Erase機能未対応のSSDではデータ消去が実施できないことを検出できる。）、③基本ソフトウェア（OS）に対する自立性（非依存性）（タブレット内蔵のSSDにインストールされたOSと独立してSSDのデータ消去が可能。）、④消去処理完了（終了）メッセージの適切性（データ消去後

に、履歴管理（ログ）ファイルに記録された内容、または処理が完了（終了）したときのメッセージの出力が適切。）、⑤データ消去完了（終了）証明書発行機能（データ消去後に、情報を収集してデータ消去作業完了（終了）書の電子データを作ることができる等。）⑥Secure Erase機能未対応SSDへの対応（対象物がSecure Erase機能未対応のタブレット内蔵のSSDであるときにそれを検出し、履歴管理（ログ）ファイルに記録、またはメッセージ出力することができる。）となっています。（評価調査の項目ごとのチェック調査内容と評価する結果については、【添付資料】をご覧ください。）

なお、「スマートフォン型タブレット」「スマートフォン」、また、「パソコン」用のデータ消去ソフトウェアの評価制度に関心をお持ちの方は、当協会にご連絡をお願い申し上げます。

当協会は、従来からの3Rの考え方に基づく使用済み製品に残された個人・企業情報の消去・破壊を前提としたリユース（リペアメントを含む）・リサイクルの推進、さらには、我が国における「SDGs」（持続可能な開発目標）に繋がり、新しい国際標準になりつつある「循環型経済」（サーキュラーエコノミーTM）の普及に貢献することを目指します。

■本件に関するお問合せ窓口：一般社団法人 IoT 対応 3RTM協会（略称 IoT3R.A）

住所： 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-23 光輪会館 6階

電話番号： 03-6435-9891 （平日 9:30～18:30）

担当： 事務局

■ホームページ： URL： <http://www.iot3r.or.jp>

■一般社団法人 IoT 対応 3 RTM協会（略称 IoT3R.ATM）の英語名称：「IoT3R® Association」

以上

【添付資料】

「パソコン型タブレットデータ消去ソフトウェア」
 評価調査の項目ごとのチェック調査内容と評価する結果

| 評価調査の項目 | チェック調査内容 | 評価する結果 |
|------------------------------|---|---|
| データの消去 | SSD のすべてのセクタ内容についてデータ消去ソフトウェアと別な専用ソフトウェア、または専用装置を用いて、消去確認。 | タブレットに内蔵している SSD (Secure Erase 機能対応) をデータ消去作業後、間違いなくデータ消去されている。 |
| SSD の動作異常 (不具合) 検出 | コントローラー異常のサンプル SSD に対してデータ消去を行ったときには、エラーを表示して作業の一時停止の確認。 | SSD に何らかの異常があったときに、それを検出できる。Secure Erase 機能未対応またはフリーズロック※時には SSD のデータ消去が実施できないことを検出できる。 |
| 基本ソフトウェア (OS) に対する独立性 (非依存性) | データ消去ソフトウェアがそれ自身で起動と実行することの確認。 | タブレット内蔵の SSD にインストールされた OS と独立して SSD のデータ消去が可能である。 |
| 消去処理完了 (終了) メッセージの適切性 | 正常完了 (終了) または異常終了時の情報が履歴管理 (ログ) ファイルに設定されていること、またはメッセージ情報が表示すること等の確認。 | 消去処理が完了 (終了) したときの履歴管理 (ログ) ファイルに記録された内容、またはメッセージの出力が適切である。 |
| データ消去完了 (終了) 証明書発行機能 | データ消去ソフトウェアでこの作業が行うことができることの確認。 | データ消去後に、データ消去作業完了 (終了) 書のもととなる情報を収集して、表示または履歴管理 (ログ) ファイルに記録することができる。または、情報を収集してデータ消去作業完了 (終了) 書の電子データを作ることができる。 情報内容は、①消去月日時、②タブレット装置の型名と製造番号、③SSD の型名とシリアル番号、④SSD の容量、⑤SSD の消去方式を示す。 |
| Secure Erase 機能未対応 SSD への対応 | データ消去ソフトウェアでこの作業が行うことができることの確認。 | 対象物が Secure Erase 機能未対応のタブレット内蔵 SSD であるときにそれを検出し、履歴管理 (ログ) ファイルに記録またはメッセージ出力することができる。※※ |

※Secure Erase 機能を実装しているタブレットの一部には、Secure Erase 機能の動作を、マイクロプログラム (ファームウェア) と基本ソフトウェア (OS) を結びつける UEFI または BIOS のインターフェースで中断させる「フリーズロック」機能と呼ばれる機能を備えているものがあります。この「フリーズロック」機能は、SSD に記録されたデータの保護等を目的としていますが、使用者 (ユーザ) 側でこの機能の設定の有無を設定できることから、リユースのときは、フリーズロック機能ははずされるようお願いします。

※※Secure Erase 機能未対応であるタブレット内蔵 SSD でデータ消去機能も提供している場合は、それは別モードでの提供であることを表示する。

以上